

女子地域枠生として

鹿児島大学医学部5年 河野眞子

義務期間をしっかりとつとめあげたい

- ・今一度入学した時の初心に戻る
- ・総合診療を実際に地域に行っておこなうという経験は自分にとって大変貴重なものになるはずである
- ・これまで様々な方の協力のもとに成長してきてくれたことを忘れない(夏期離島実習など)

望むこと

- ・最終的に自分の一番興味のある専攻科に進みたい
- ・義務期間中に妊娠出産ができる制度

最終的に自分の一番興味のある専攻科に進みたい

どの科に進むとしても総合的に診る力を身に付ける努力をすることは必須だが、最終的には“なれる診療科の中から選ぶ”のではなく“自分の一番興味の持てる診療科”に進みたい

期間中に妊娠出産できる制度

- ・現在の制度では現役生がストレートで義務期間を終えた場合に翌年度に34歳
- ・授かることができた場合は期間中に妊娠出産したいそのための明確な制度設定がほしい
- ・具体的な理想は30歳までに1人目期間内に2回出産できるとなれば、とても安心

今自分にできること

- ・新専門医制度について自分で調べよく理解する
- ・地域枠制度の今後の改変について、憶測で不安に思うのではなく制度が整うのを待つ
- ・最優先項目として日々の勉強をしっかりと